

私立中学高等学校 いじめ対応緊急説明会 実施報告

「いじめ対応緊急説明会」が、平成25年1月19日（土）に、東京都新宿区の東京都私学財団会議室で開催され、160名を超える参加があった。

開会式では、当研究所の吉田晋理事長よりあいさつがあり、私学の置かれている厳しい状況を踏まえたうえで、この説明会で、いじめに対して私学人がどう対応すればいいのかのヒントになって欲しい、との言葉があった。

続いて、当研究所の中川武夫所長からは、この説明会に定員を大きく超える多数の申し込みがあったことに触れ、いじめ問題を各私立学校がいかに重要だと認識しているかの現れだと述べた。

今回の報告会は、昨年から相次いで起こった学校現場での事件を重く見て、急遽企画したものである。

文部科学省は、平成24年8月1日に「子ども安全対策支援室」を設置し、いじめの問題が背景にある児童・生徒の自殺、部活動等教育指導中の事故、凶悪事件、自然災害など、



学校において子どもの生命・安全が損なわれる重大事件・事故又はそのような事件・事故に至る危険性が高い重大な事態が発生した場合、学校や教育委員会が、その原因・背景等について把握し、迅速に効果的な対応が行えるよう支援を行っている。

そこで、私立学校としていじめ対応を考える参考にすべく、上記支援室の室長補であり、文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長の池田宏氏にご講演をお願いした。

いじめの事案が起こった際に、各学校法人の理事長や学校長がどのようなことに留意して、どのような対応を行うべきか。また、この点に関して、国としてどのような対策をとっているのか。等の内容を中心に、多くの統計資料を参考にしながら、分かりやすく解説をしていただいた。



講演終了後には質疑応答が行われ、参加者から池田氏への様々な質問があり、池田氏も時間を惜しまずに対応していただいた。

また、閉会式では、当研究所の近藤彰郎理事よりあいさつがあり、いじめ問題には校長が先頭に立って取り組んで、その責任も負う覚悟が必要であると述べて、この説明会を終了した。